

令和4年度

環境活動レポート

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

発行日:令和5年7月24日



「より良く」「より早く」「より安全に」「より環境に」気を配る

株式会社 藤島建設

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松2344-1

TEL:0238-42-3166 FAX:0238-42-5220



目 次

1. 環境経営方針	P2
2. 組織の概要	P3
3. エコアクション21実施体制	P4
4. 環境経営目標	P5
5. 環境目標値と実績値	P6
6. 環境経営計画の取組結果の評価 並びに次年度の取組内容	P10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認	P11
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P12
9. 環境活動取組み状況	P13

環境方針

<基本理念>

株式会社藤島建設は、「持続可能な社会を構築するため」に、全組織・全従業員にて、積極的かつ具体的に「環境負荷の軽減」への取組を行います。

<行動指針>

1. 省エネルギー（電力・燃料使用量の削減）に取組み、二酸化炭素排出量削減に努めます。
2. 廃棄物の削減・リサイクルに取組み、適正な処理に努めます。
3. 節水(水道の使用量・排水量の削減)に取組み、水資源の保全に努めます。
4. 事業活動で必要になった物品の調達時には、グリーン製品購入に努めます。
5. 工事の設計・施工を行う上で、環境に配慮した施工方法を検討・実施に努めます。
6. 積極的に地域貢献活動を行い、社会環境改善に努めます。
7. 環境関連法規制等は、確実に遵守します。

平成 26 年 10 月 4 日

株式会社 藤島建設

藤島英一 印

環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

2 . 組 織 の 概 要

1 事業者名及び代表者名

株式会社 藤島建設
代表取締役社長 藤島 英一

2 事業の概要

山形県知事許可 (特・般-29)第500155号
建設業の種類 土木一式工事・建築一式工事・大工工事・とび土工工事
石工事・管工事・鋼構造物工事・舗装工事
水道工事・造園工事・さく井工事及び解体工事

3 所在地及び連絡先

住 所 : 〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松2344-1
連絡先 : TEL 0238-42-3166 FAX 0238-42-5220
Email : ea21@fujishima.com

担当者 : 環境管理責任者 藤島 明子

4 事業の規模

創 業 : 昭和42年1月 会社設立 昭和44年9月
資本金 : 2,000万円
売上高と従業員数 :

事業年度	令和4年度 (R4.4~R5.3)	令和3年度 (R3.4~R4.3)	令和2年度 (R2.4~R3.3)
完成工事高(千円)	456,031	334,871	606,539
従業員数(人)	12人	14	15
注) 完成工事高は、当社会計年度【当年4月～翌年3月まで】による。			

3. エコアクション21実施体制

制定日：令和5年6月29日

当社のエコアクション21の実施体制は下記のとおりとする。



4. 対象範囲と対象取組期間

1. 認証・登録範囲

本社並びに建設工事現場全体

2. 環境活動レポートの対象取組期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

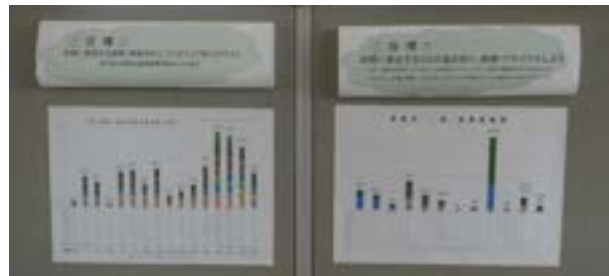
一年ごとにまとめ、毎年6月に発行する予定です。

5. 環境経営目標

1. 環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との接合性を図り、次の5項目について環境目標を設定しました。

- ★ 二酸化炭素排出量の削減
- ★ 産業廃棄物再資源化率の向上
- ★ 総排水量の削減
- ★ 建設工事の工期短縮の取組
- ★ 河川アダプトの継続



2. 主な環境負荷の実績

平成27年度(H27.4～H28.3)当社における主な環境負荷の実績は下記に示す通りです。

部門	二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)					廃棄物再資源化率(%)		総排水量 (m ³) (水使用量)
	電力	灯油	LPG	ガソリン	軽油	一般 廃棄物	産業 廃棄物	
事務所	5,781	5,981	244	4,545	0		—	135.40
現場	3,512	1,954	309	7,677	110,652	—	94.08	0

(注) 電力の二酸化炭素排出係数は平成24年度東北電力(0.60)を使用しました。

3. 環境経営目標の設定

項目	年度 部門別	基準年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		平成27年度実績値	目標値	目標値	目標値
		基準年度比△1.5%	基準年度比△2.0%	基準年度比△2.5%	
二酸化炭素排出量	合計	140,655 CO ₂	138,545 CO ₂	137,842 CO ₂	136,809 CO ₂
	建設現場	124,104 CO ₂	122,243 CO ₂	121,622 CO ₂	121,002 CO ₂
	事務部門	16,551 CO ₂	16,302 CO ₂	16,220 CO ₂	15,807 CO ₂
電力使用量	合計	15,489 kwh	15,256 kwh	15,178 kwh	15,102 kwh
	建設現場	5,854 kwh	5,766 kwh	5,736 kwh	5,707 kwh
	事務部門	9,635 kwh	9,490 kwh	9,442 kwh	9,395 kwh
ガソリン使用量	合計	5,264 ℓ	5,184 ℓ	5,157 ℓ	5,134ℓ
	建設現場	3,307 ℓ	3,257 ℓ	3,240 ℓ	3,225 ℓ
	事務部門	1,957 ℓ	1,927 ℓ	1,917 ℓ	1,909 ℓ
灯油使用量	合計	3,184 ℓ	3,136 ℓ	3,120 ℓ	3,120 ℓ
	建設現場	784 ℓ	772 ℓ	768 ℓ	765 ℓ
	事務部門	2,400 ℓ	2,364 ℓ	2,352 ℓ	2,340 ℓ
LPG使用量	合計	88.8 m ³	87.4 m ³	87.0 m ³	86.9 m ³
	建設現場	49.8 m ³	49.0 m ³	48.8 m ³	48.8 m ³
	事務部門	39 m ³	38.4 m ³	38.2 m ³	38.1 m ³
軽油使用量	合計	42,785 ℓ	42,143 ℓ	41,929 ℓ	41,716 ℓ
	建設現場	42,785 ℓ	42,143 ℓ	41,929 ℓ	41,716 ℓ
	事務部門	—————	—————	—————	—————
産業廃棄物排出量	建設現場	203 t	再資源化率の向上	再資源化率の向上	再資源化率の向上
一般廃棄物排出量	事務部門	938 kg	再資源化率の向上	再資源化率の向上	再資源化率の向上
総排水量 (水使用量)	合計	135.4 m ³	—————	—————	—————
	建設現場	0 m ³	—————	—————	—————
	事務部門	135.4 m ³	133.4 m ³	132.7 m ³	132.1 m ³
グリーン購入	建設現場	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める	グリーン購入に努める
	事務部門	グリーン購入に努める	事務消耗品71%	事務消耗品72%	事務消耗品73%
工事の工期短縮化	建設現場	工期の短縮化	工期前完成	工期前完成	工期前完成
※工事評定中地域貢献	建設現場	—————	評価点5.0/5.2	評価点 5.0/5.2	評価点 5.0/5.2
河川アダプト継続	建設現場	年2回実施	年2回実施	年2回実施	年2回実施
	事務部門				
重機車両の燃費	建設現場	5.28 k/ℓ	5.35 k/ℓ	5.38 k/ℓ	5.28 k/ℓ
	事務部門	19.5 k/ℓ	19.7 k/ℓ	19.8 k/ℓ	19.1 k/ℓ

※山形県発注工事における工事成績評定中の環境対策を含む地域貢献の項目、満点は5.2点。
 地域貢献・・・周辺地域の環境保全、生物保護等について具体的な対策をしたと、評価項目がある。

5. 令和4年度環境目標値及び実績値

当社全体では 154,360t/CO₂ 排出し、前年度(173,983t/CO₂)より 大幅な削減となりました。

東北地方の一般家庭年間排出量は 4.19t/CO₂ (環境省R2参照)

削減排出量は当社全体で 38.4世帯分相当となる。



事務部門

10年に一度といわれる寒波の影響や新型コロナの対策として常時社内を換気をしている事もあり、灯油の目標値までは届きませんでした。しかし、12月に事務所の全窓を二重サッシへと取替える取付工事を行い、その効果もあり灯油は前年度より1,645kg/CO₂減少することが出来ました。今後も電力・灯油の削減に繋がる行動を心掛けていきたいと思っております。

	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和4年度 目標 (R4.4~R5.3)	令和4年度 実績 (R4.4~R5.3)	削減率 ※1	評価 ※2
二酸化炭素排出量	16,551 kg-CO ₂	16,302 kg-CO ₂	13,061 kg-CO ₂	19.10%	◎
1) 電力	5,781 kg-CO ₂	5,694 kg-CO ₂	5,159 kg-CO ₂	8.50%	◎
2) 灯油	5,981 kg-CO ₂	5,831 kg-CO ₂	6,828 kg-CO ₂	▲17.1%	×
3) LPG	244 kg-CO ₂	240 kg-CO ₂	120 kg-CO ₂	49.3%	◎
4) ガソリン	4,545 kg-CO ₂	4,477 kg-CO ₂	954 kg-CO ₂	78.5%	◎
廃棄物排出量					
一般廃棄物再資源化率	—————	76.72 %	80.35%	3.6%	◎
総排水量(水使用量)	135.4 m ³	134 m ³	121 m ³	13.00%	◎
グリーン購入	グリーン購入に努める	グリーン購入率 70%	グリーン購入率 80%	10.0%	◎
環境保護	河川アダプト実施	河川アダプト実施	河川アダプト実施		◎

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

一般廃棄物については、段ボール、新聞紙、廃コピー用紙、雑誌類など分別し、データ収集をしております。可燃ごみとリサイクルごみの徹底的な分別を心がけ、廃棄物削減に向けた取組を今後も継続して行きます。対象期間内における廃棄物の種類別排出量の実績値は下記のとおりです。

(単位:kg)

廃棄物の種類	排出量	処分	廃棄物の種類	排出量	処分
段ボール類	73	再資源化	新聞紙・雑誌	124	再資源化
廃コピー用紙	222	再資源化	雑紙類	62	再資源化
プラスチック	10	再資源化	ペットボトル	60	再資源化
空き缶	71	再資源化	その他の可燃ごみ	111	焼却処理
空きビン	14	再資源化	その他の不燃ごみ	45	埋立処分
			リサイクル率	80.30%	

建設現場部門

仮設電気のメーターを付けられない為、電力は不明です。現場までの距離が遠かった事や工事内容により、ガソリン・軽油、灯油の使用量が多くなり目標値には届きませんでした。昨年度より二酸化炭素排出量は大幅に削減出来ています。

	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和4年度 目標 (R4.4~R5.3)	令和4年度 実績 (R4.4~R5.3)	削減率 ※1	評価 ※2
二酸化炭素排出量	124,104 kg-CO2	122,242 kg-CO2 (119,386 電力なし)	141,299 kg-CO2	▲15.0	×
1) 電力	3,512 kg-CO2	3,459kg-CO2	0 kg-CO2	—	—
2) 灯油	1,954 kg-CO2	1,925 kg-CO2	2,217 kg-CO2	▲16.4%	×
3) LPG	309 kg-CO2	304 kg-CO2	60 kg-CO2	80.0%	◎
4) ガソリン	7,677 kg-CO2	7,561 kg-CO2	12,642 kg-CO2	▲68.9%	×
5) 軽油	110,652 kg-CO2	108,992 kg-CO2	126,380 kg-CO2	▲17.1%	×
廃棄物排出量					
一般廃棄物再資源化率	—————	—————	—————		
産業廃棄物再資源化率		97.00%	80.35%	▲16.65%	◎
総排水量(水使用量)	0 m ³	0 m ³	0 m ³		
工期短縮					
地域貢献評価		地域貢献 4.5/5.2	地域貢献 3.8/5.2		×
環境保護	河川アダプト実施	河川アダプト2回実施	河川アダプト2回実施		◎

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

地域貢献…“周辺地域の環境保全、生物保護等について具体的な対策をした”と、山形県発注工事における工事成績評定点に評価項目がある。

取組期間中における産業廃棄物の排出実績は下記のとおりで、コンクリートやアスファルト廃材の排出が多くなっております。これらの大部分は再生利用に回っておりますが、混合廃棄物は焼却や埋立処分され、廃プラスチックも含め更に徹底した分別を行い、リサイクル率を向上させる取組を進めて行くこととします。

廃棄物区分	処理方法	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和4年度 目標値 (R3.4~R4.3)	令和4年度 実績値 (R4.4~R5.3)
廃プラスチック	再生利用	2		10
金属くず(有価物)	再生利用			2
コンクリート(有筋)	再生利用	170		37602
コンクリート(無筋)	再生利用			4158
アスファルト廃材	再生利用	15		177
木くず	再生利用	4		0.97
循環資源合計…A		191		41949.97
ガラスくず	最終処分	4		
石膏ボード	最終処分			
混合廃棄物	最終処分	8		1.2
廃棄物合計…B		12		1.2
リサイクル率:A÷(A+B)×100		94.08%	95.96%	100.00%

※リサイクル率とは、全廃棄物量から単純焼却処分量と最終処分量を差し引いた循環資源(再使用+再生利用)の割合を言います。

除雪部門

軽油使用量が降雪量によって大きく異なるため、比較が非常に困難であることから、除雪部門は機械ごとに稼働時間1時間当たりの燃料使用量を記録し、前年と比較してエコ操作に努めるよう意識を促しております。

今年度は寒波の影響で目標を達成できませんでした。

なお、建設現場部門での車両の燃料については、工事内容により使用量が左右されるため、1台ごとの燃費を記録しており、今後の取組に活かしたいと考えております。

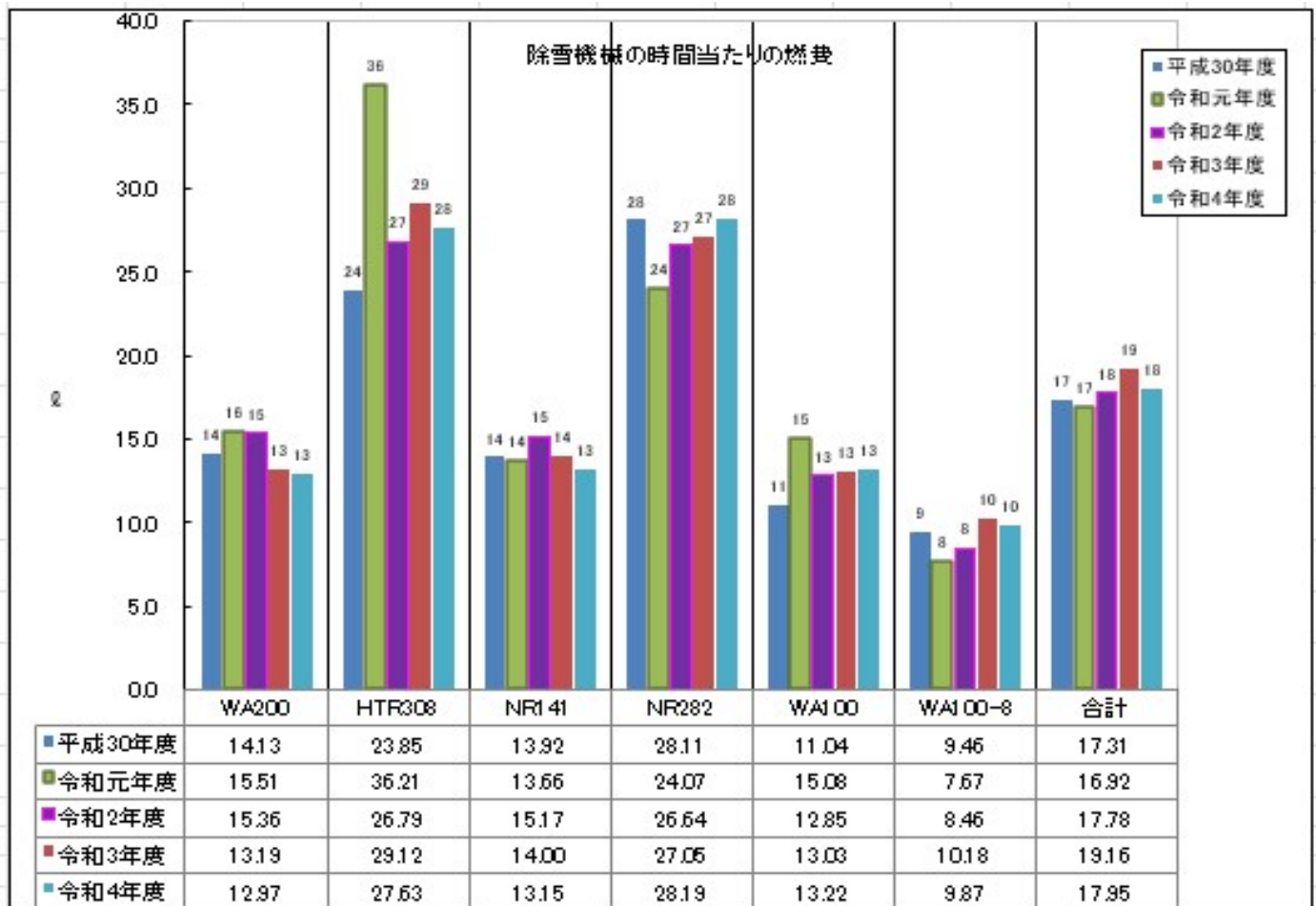
	基準年度(平成27年度実績) (H27.4~H28.3)	令和4年度 目標 (R4.4~R5.3)	令和4年度 実績 (R4.4~R5.3)	削減率 ※1	評価 ※2
☆ 除雪機械の稼働 1時間当たりの燃費	17.64 ℓ/H	17.37 ℓ/H	17.95 ℓ/H	▲0.66%	×

※1…削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

※2…評価:◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→目標とほぼ同じ、×→目標より増加

(注) 除雪機械の燃費は、実稼働1時間当たりの燃料消費量(ℓ/時間)で表しております。

従って1時間当たりの燃料は少ない程燃費が良い事になります。



6. 環境活動計画と取組結果の評価ならびに次年度の取組内容

環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分(未実施) —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	・室内温度の適温化(冷房時 28℃ 暖房時 20℃)	○	実際の温度で確認する
		・定期的にエアコン・ヒーターのフィルターの掃除	○	実施日を決め、定期的に
		・不要時の照明及びOA機器のスイッチオフ	○	朝礼等で呼びかけ徹底
		・照明の交換時にはLED等の省エネ製品の購入	○	交換時には必須
		・クールビズ・ウォームビズの実施	○	引き続き取組む
	ガソリン・軽油 使用量の削減	・エコ運転の実施	○	引き続き取組む
		・アイドリングストップの徹底	○	来客にも声掛けする
		・現場への相乗りの実施	○	極力実施する
		・走行距離の効率化	○	極力実施する
	その他の燃料 削減	・ウォームビズの実施	○	引き続き取組む
		・室内温度の調整	○	実際の温度で確認する
		・盛夏の湯沸し器不使用及び無駄な湯沸しはしない	○	引き続き取組む
廃棄物適正管理の削減と	一般廃棄物の削減	・分別ルール確立と周知徹底	○	朝礼等で呼びかけ徹底
		・コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	△	現場関係の徹底
		・一般廃棄物の排出量の記録	○	引き続き取組む
		・保管場所の管理	○	引き続き取組む
	産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の排出量の記録	○	引き続き取組む
		・マニフェスト・契約書類の管理	○	引き続き取組む
・産業廃棄物実施報告書の提出	○	引き続き取組む		
排水量の削減	・手洗い場などへの節水掲示	○	定期的に貼替える	
自主設定項目	・工期短縮に努める	△	随時工程表を確認する	
	・現場等の環境に関する事前調査の実施と対策	○	引き続き実施する	
	・地域貢献に努める	○	社内パトロールする	
グリーン購入	・グリーン購入ネットワーク商品の選定	○	購入率を上げる	
	・車両・機械等設備のグリーン購入	○	取替時検討	
環境保護・配慮	・会社・現場周辺のゴミ拾い・草刈等	○	引き続き取組む	
	・河川アダプトの実施(犬川河川堤防)	○	引き続き取組む	

次年度の環境活動計画

次年度も継続して取り組みます。

7. 環境関連法規の遵守状況の確認

令和4年6月3日において、下記環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、現場毎、工事着工前に「環境配慮事項」を作成・検討しており、違反状態は認められませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは外部からの苦情についてもありませんでした。

法令・条例・規制	適用内容・規制基準	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理 及び 清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約書の締結	○
	収集運搬・処分業許可証確認	県知事の許可証	○
	マニフェストの交付義務、記載義務及び虚偽記載の禁止	マニフェストの適正な作成	○
	マニフェストの保管・管理	A票、B2票、D票、E票の保管(5年間)	○
	マニフェスト伝票の交付状況の報告	毎年6月末までに報告	○
	水銀含有製品の処理(蛍光灯等)	廃棄物処理は委託 水銀含む事を明記	○
建設リサイクル法	指定物品のリサイクル化、実績記録の作成・報告・保管義務	アスコン塊、コンクリ塊、木材、発生土等再利用	○
建設業法	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○
	建設業の許可(区分・更新・基準)	知事への申請	○
フロン排出抑制法	空調設備の点検	エアコンの簡易点検(年4回)	○
グリーン購入法	環境にやさしい商品の購入	環境物品の購入・推進	○
自動車リサイクル法	引取り業者への引渡し	リサイクル料金支払	○
家電リサイクル法	指定家電の適正処分	テレビ、エアコン、冷蔵庫等	○
消防法(危険物の取扱い)	火災の予防	危険物施設、物品の取扱いと火災予防	○
東置賜行政事務組合火災予防条例	200L以上危険物の貯蔵	消防署長に届出	○
騒音振動規制法	特定建設作業(くい打ち、大型建設機)を伴う施工時	1週間以内の届出	○
水質汚濁防止法	汚濁水排水を防ぐ	漏油事故等の応急処置と届出	○

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境活動計画の達成状況と評価

- ・ 環境目標について3部門がありますが事務所部門においては大変素晴らしい結果となりました。建設現場部門、除雪部門に関しては外的要因が大きく影響していますが、努力の跡がみえます。社員一人一人の意識の高さが、結果として数値に現れています。

環境関連法規等の遵守状況

- ・ 関連法規の遵守状況については問題ありませんでした。

問題点の是正及び予防処置の状況

- ・ 特にありません。

外部からの苦情・要望・対応状況

- ・ 特にありません。

環境経営システムの適切性、妥当性及び有効性

- ・ 社員1人1人の意識が経過とともに向上していると思います。
- ・ 各項目に関して達成できなかった要因を分析し、更なる意識向上をはかる必要があります。

代表者による見直しの内容(次年度)

- ・ 基準年度が平成27年度実績値となっていますが、今後は令和4年度の実績値を基準として新たな環境目標値を立て直してください。
- ・ 年度末に担当者が退職したため、実施体制を見直し、新たな体制作りを行う必要があります。

環境経営システム

- ・ 令和4年度の実績については、責任者、推進委員が中心となって、活発な活動を行った結果、システムは有効に機能しました。

環境への取組

- ・ 環境への取り組みの効果が数値として確実に表れています。今後も工夫をして取組ましよう。

株式会社 藤島建設
代表取締役社長 藤島 英一

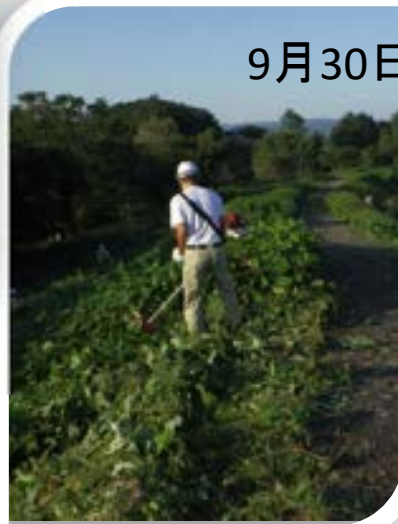
9. 環境活動取組状況写真

犬川河川草刈・ごみ拾い(年2回)

6月30日



9月30日



環境標語コンクール受賞作品

- | | |
|---------------------------------|----|
| 環境は未来に届ける 贈り物 | 加藤 |
| 少しぐらい その甘えが環境壊す
みんなで守るきれいな環境 | 前柳 |
| 慣れと油断が事故のもと
今こそ高める安全意識 | 大場 |

標語コンクールを開催し
月ごとに標語を掲示し意識づけ



すべての会社の窓を二重サッシに替え
室外の温度変化の影響を室内に伝える事で
クーラーや暖房器具の負荷を減らし省エネ対策を
強化しました。